

(対象期間：2021/11/22～2021/11/26)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移
(2016年1月4日～2021年11月26日)

【株式市場】

週初、ジャカルタ総合指数は史上最高値を更新しました。中間配当の発表を受けて大手一般消費財メーカー株が大幅上昇となりました。23日は株式市場が下落する中、石炭価格の回復やニッケル価格の上昇などを背景に石炭株やニッケル鉱山株などが堅調に推移しました。24日以降も上値の重い展開となりました。26日、裁判所による雇用創出法（オムニバス法）の一部改正の命令や、南アフリカで検出された新型コロナウイルスの新たな変異株（オミクロン株）への懸念を背景に株式市場は大幅に下落し、前週末比でも下落となりました。

2021/11/19	2021/11/26	変化率
6,720.26	6,561.55	-2.36%

【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移
(2016年1月1日～2021年11月26日)

【債券市場】

22日は株式市場が堅調に推移する中、債券市場では外国人投資家の資金流出が見られ利回りはやや上昇（価格は下落）しました。大手格付け会社のフィッチは、インドネシアの良好な中期成長見通しや対GDP比の政府債務比率が相対的に低いことを背景に長期外貨建て発行体格付けを「BBB」に据え置き、見通しを安定的と発表しました。債券市場での反応は特にありませんでした。週末にかけて、新型コロナウイルスの新たな変異株への懸念やオムニバス法に対する裁判所の決定を受けて通貨ルピアが弱含んだことから債券利回りは上昇しました。10年国債利回りは前週末比上昇しました。

2021/11/19	2021/11/26	変化幅
6.036	6.092	+0.056

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移
(2016年1月1日～2021年11月26日)

【為替市場】

週初、ルピアは良好な株式市場を背景に狭いレンジ内で堅調に推移しました。しかし週末にかけて、香港や欧州で新型コロナウイルスの新たな変異株の感染者が確認されたことなどをを受けてリスク回避的な動きとなり、新興国通貨全般が弱含む中ルピアも下落しました。インドネシア中央銀行のペリー総裁は25日の議会公聴会で、2021年の経済成長率が前年比3.2%～4%の範囲になるとの見通しを示した一方、2022年の経常赤字見通しは対GDP比1.5%に拡大する見込みであると述べました。ルピアは対米ドル対円ともに前週末比下落しました。

2021/11/19	2021/11/26	変化率
0.8007	0.7939	-0.85%

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。

英国ブルーデンシャル・グループ

211129 (01)